

小橋教授インタビュー

現在の所属・職名:

- 慶應義塾大学 経済学部 教授 (2023年4月より現職)

専門

分野:

- 国際貿易、貿易政策
- 特に、グローバル・バリュー・チェーン(GVC)をめぐる諸問題、国境を越えた企業の生産活動を中心に研究されています。

学歴・学位:

- 慶應義塾大学 総合政策学部 卒業 (2006年3月)
- 慶應義塾大学大学院 経済学研究科 博士(経済学)取得 (2011年5月)
- ウィスコンシン大学マディソン校 経済学部 博士課程修了、Ph.D. 取得 (2018年12月)

主な職歴:

- 慶應義塾大学 経済学部 助教(研究)
- 東洋大学 経営学部 助教
- 青山学院大学 国際政治経済学部 助教、准教授

受賞歴:

- 令和3年度(第16回)日本国際経済学会 小島清賞 優秀論文賞(2021年10月)

小橋教授は、国際貿易と貿易ルール・制度の分野における専門家であり、国内外で多岐にわたる研究活動を行っています。2026年度入ゼミ生は4期生になります。

Q:ゼミ生はどんな人たちですか？

小橋教授:「みんな結構真剣だし、(日本語以外の言語が飛び交う様子から)国際色豊かな学生たちが学んでいます。」

Q:小橋さんが最も学生に求めていることは何ですか？

小橋教授:「自発性です。研究と同時に、教育も、ただ教えるだけじゃなくて、みんなからすごく、逆にフィードバックで、学ぶことも多いから、とってゼミは楽しくて。なるべく私が手をかけないで、のびのび、もっともっと大きく育ってほしいなっていう、そんな宝物みたいな存在です。」

Q:小橋さんはゼミ生についてどう思っていますか？

小橋教授:「ゼミ生は宝物です。なんか元気をくれるし、みんな大きくなってほしいなと思って大切にしています。」

Q:小橋さんはどんな人ですか？

ゼミ生の声:

「優しく、時には厳しく、。ここで成長してるなって自分自身で感じます。」

- 「第二の母親のような存在です。」
- 「She is so kind, and dedicated. Very nice.」
- 「愛する人です。」
- 「めっちゃ明るい、めっちゃいいチームだと思います。」
- 「すごく優しくて、なんか上品なママって感じ。」

Q:小橋さんにとって「仕事」とは何ですか？

小橋教授:「私にとって仕事とは、呼吸です。息してることと同じ?なんかそれぐらい自然なことだし、自分の生活の一部だし、人生の一部。だから、呼吸してる限り、研究、仕事も続けていきたいです。」

Q:なぜ研究者になったのですか？

小橋教授:「私は研究者一家に生まれたから、あんまり選択肢として他のことをあんまり考えてなかったっていうのもありますし、研究って面白いなって思ったタイミングが重なったりしました。みんなと同じぐらいのとき、3年生の時にはもう研究者になろうと思っていました。」

Q:小橋さんは研究についてどのように考えていますか？

小橋教授:「研究は人生そのものだから。呼吸している限り研究を続けていきたいです。」